

NO 18

S63, 11月30日

—発行—

〒869-12

熊本県菊地郡

大津町森54-2

社会福祉法人

三気の会

三気の里

TEL096

293-8100

## 心の季節

理事長 田中 稔

各地から初雪、初氷の知らせが聞こえて来る季節となりました。

秋の終りは枯れ葉散るシャボンが良く似合う心の季節という事でしょうか。我が『三気の里』の園生も心がデリケートにシャボンを奏でている様です。一人寂しく落ち込んでいます。心の想いが伝えられないと激しく悩んでいる子。こだわり行動が強くなっている子。睡眠のリズムを壊している子。常同行動にひたりきっている子。

様々な状況が季節の変動に合わせてるかの様に見られます。

この時期、私達内科の一般外来にも体の変調やら胃潰瘍やら

不眠などが増えてきます。この子達も普通の人と同じように時間の流れ、季節の変化の影響を受けている様です。

人一倍デリケートで過敏にさえ見えるこの子達は3〜6才頃と思春期とに激しく揺れ動く時期がある様に思います。又、春夏秋冬季節の変わり目にもデリケートな様子を見せてくれます。

東京都立梅ヶ丘病院の中根先生は、『自閉症に知覚、認知の障害がある事は多くの人から支持されています。同時に障害の原因となった脳障害は多種多様な症状、異常行動、精神的症状をも引き起こします。これらを自閉という用語で一括していた事に無理があったのではないかと思います。』といわれています。

ます。

自閉症児者が示すいろいろな表情を普通の一人の人間に対する様に精神的に把握する必要がありません。不安定で傷付き易く、しかも自ら訴え処理する方法を持たないこの子達の心の問題はこれからです。

のんき

☆この度、62年度分のたんぽぽ(1号〜10号迄)が冊子になりました。やった!黄色い表紙のかわいいたんぽぽです。一冊いかがですか。

☆三気号にのん気号と我が三気の里には、2台の自動車があります。そしてもうすぐ、新しい10人乗りのワゴン車、命名根気号がやってくるんです。今私達は、ルンルンと待ち侘びた日々を送っているところです。さあ!根気のあるもの寄って来い。根気号に乗って、さあドライブ!まだ雲の上にある根気号にたくさんの夢を乗せて、私達は、ニヤケています。(波多野)

## 療育シリーズ

ミスター

ヒーロー

園長 土井 尚典

ミスターが入園の為面接に来た時は、向精神薬の副作用の為真っすぐ歩けない状態でした。授産施設から国立病院に入院し、その後入園しました。医師と保護者と相談の上、薬を止める事にしました。足取りもバッチリ、目つきもバッチリして、これは良かったと思ったのは甘すぎました。日に日にイタズラが激しくなってきました。話し中の電話を横から指先でガチャリと切ってしまう。事務所の書類を破る。窓から職員室めがけて物を投げ込む。自動車を物でたたき。などなど職員の顔を見ながら、さも楽しそうに、ありとあらゆるイタズラをはじめました。叱っても『わかりました』といいな

がら、ニヤリと笑ってイタズラをします。なるほど授産施設を退所になった訳が分かったと思つた時は、大変な大物に成長？していました。イタズラをしたら謝らせるは無駄、正座をさせても無駄、よく話して聞かせるなど、どこ吹く風でした。『もう解った。絶対に悪い事はしません』と一日に何十回約束した事か。もうだまされんと思いがながら職員もむきになってしましました。作業中はバリバリイタズラをし、自由時間になると我が物顔になりました。

そこで、ミーティングとケース会議を繰り返し行い、ミスターには何が一番必要なのだろうかという事になりました。前の施設の職員がふともらした『遊んで欲しいんだと思います。遊んでやればいいんですがねえ』という言葉も手掛かりとなり、『ミスターも私達も同じ喜びを共有出来てないのでないか』と

いう事になりました。又、イタズラは叱っても無駄だという事になりました。

方針は指示に従う。指示に従わない時は何かをやらせる。何かは必ず同じもので、必ずやらせられる物。そして、無理矢理やらせた後、仲良くなれるものをさがしました。『無条件マラソン』という名前を付け、一度指示をして、それに従わない時はマラソンをさせるというものでした。例えば、イタズラをして、『止めなさい！』と言ってもやればマラソンをさせる訳です。無条件というのは、『今度からもうしない』という言い訳はきかない。雨の日で夜でも例外はなくマラソンをさせるというものでした。少しでも走れば激励する。走り終わればみんな手をたたいて褒める。職員も一緒に走る。という方法でした。効果はてきめんに現れました。一日3〜4回走っていたのがい

つの間にか職員全員と仲良くなり、マラソンをする事も必要なくなりました。安心？

ところが最近、ミスターは無条件マラソンをやらされていました。もっと仲良くなりたいのかな？



### からいも祭り

11月3日、念入りの計画の下に三気の里の、第一回からいも祭りが、華やかに催されたのでした。4班が、この日の為に丹念に育て上げ収穫もせず残しておいてくれたさつま芋を、みんなで掘り上げる感激はひとしおだったのです。

ところで、みんなは偉い！さつま芋祭りの会場設営等全員で頑張ったのでした。その結果思ったより早く午前中の準備を終了することが出来たと言いたい所だったので、焚火に当たったり一息入れている人ばかりがいたのも動かぬ事実だったので。

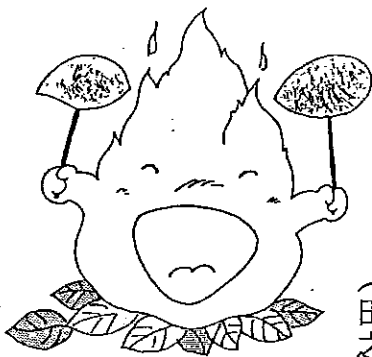
(さむかったからなあ！)

午後からいよいよさつま芋掘り、腹ごなしにいっちょやったるかとはばかりに気合を入れている顔も見えるが、何をやるんだ、面倒臭い、人騒がせなといわんばかりの顔の中にはあった。そこは、実行委員3人で知恵を絞り名案を企画したので。より楽しく芋掘りできるよう宝探しを取り入れたのです。三人寄れば文殊の知恵とはよく言ったものです。そんなことはおいて、芋掘りを始めると真先に宝探しに力を入れて掘るものもいれば、のんびりと自分流に掘る者、土遊びのほうが楽しい

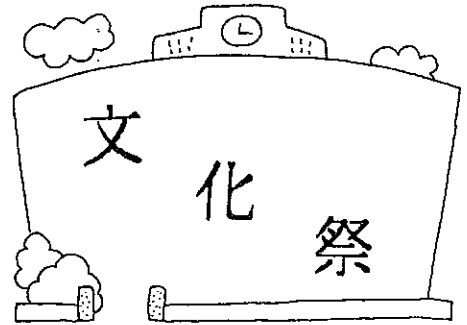
とばかりに顔も服も真っ黒になりながら遊んでいるものとさまざまでしたが、やがて「あった！」「ここにも！」と、あちこちから歓声も響くようになった。そこに混じってこれ何だろうとばかりにチリトリ、ポーリングのピンなどをほりあげる、そうあなたは当たりです。そのようなことで、この日大賞を掘ったのは、文ちゃんでした。以下、新ちゃん、りえちゃん、宏幸君、浩ちゃん、啓三君、ただちゃん、英君が栄光に輝いたので。掘った芋は、すぐ焼き芋にして食べました。

「うーん、これが匂の味だ」

(田之上)



# 志摩学園



去る11月6日、日曜レクの一環として福岡の志摩学園へ文化祭を見学し、職員合わせて総勢22名で出掛けました。のんき号で、高速道路を走るのも初めてだったし、片道3時間という園生にとってはちょっと長めのドライブで出発前は色々心配されましたが、いざ出陣とばかりに発車してしまおうと、どんなものが待ち受けているのだろう、どこへ連れて行ってもらえるのだろうか、一人一人それぞれの思いを胸に一路福岡へと向かったのです。

車は快調に1時間ほど走り、広川SAでトイレ休憩をとり、目指すは志摩学園へ。途中今まで通ったことのない(私だけか?)都市高速を走り、きっちり園を出て3時間後には目的地の志摩学園に到着しました。なにしろ車中が往復で6時間なのに對して、志摩学園にいれる時間は2時間しかないという強行スケジュールだっただけにすぐに昼食をとり、見学へと。先月実習にいられた根本さんから大勢の職員やボランティアの方々に良くしてもらい、クッキーや、コーヒータ、つきたてのお餅を御馳走になったり、色々な催しを見せてもらいました。園生・職員ともに一人二百円のお小遣いを手に、綿菓子を食べたり、陶器を買ったり、輪投げゲームに精を出したりしてとっても楽しいひとときを過ごすことができました。なんといっても一番ハッスルしていたのはN・A君

で、「北国の春を歌う」といっていきなりカラオケをやっているステージに上がり、堂々と歌ってくれました。また、そうかと思えば、指導員談義に花を咲かせている坂井主任の姿も見られ、園生、指導員ともに有意義な一日でした。これを機にちょっと遠いけど、もっともっと交流ができるようになるといいなあと思いました。最後に園長、坂井主任運転御苦労様でした。ボランティアで参加してくれた6名の職員の方もお疲れ様でした。

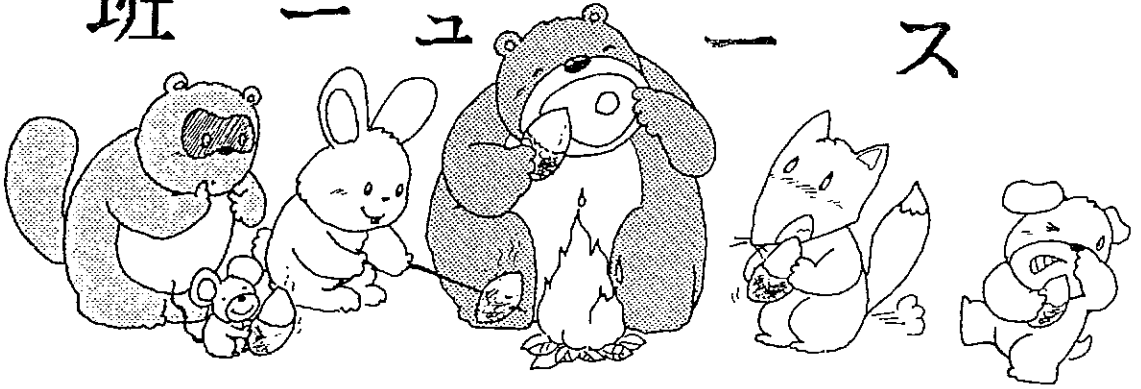
(木下)

「さようなら」

和久君

10月いっぱい、4班で頑張っていた和久君が退所しました。笑顔のかわいい和久君、残念だけど元気ですね!

# 班 ニ ュ ー ス



## 5班・お漬け物はゆめの味？

帰宅の朝、毎週土曜日になるとキャベツ、大根の漬け物が突然現れます。それは、みんなでせっせと作った野菜が売れ残ると、捨てては罰が当たる。名案はないかとビッグママ日置女史が考え、民さんとふたみさんが手際よくぶつぎりにした大根やキャベツをもって帰って秘伝の愛情を加え、カロリーはひかえめ？のおいしい漬け物に早変わり。次の週には玄関横に出現という分け。で、大好評。売上もちょっぴり上がってほくほく顔の皆。いつも笑っている辰治さんは一層顔をくずし、正利さんは一層おしゃべりになる。それを見ているぐうたらおじさん坂井は試食のタッパをかかえ誰にも渡さず食べ過ぎるありさまです。みんなケンタッキーのジュース、アイスが食べれると、またドライブに行けると夢が広がって行きます。

(坂井)

## 4班・山芋物語

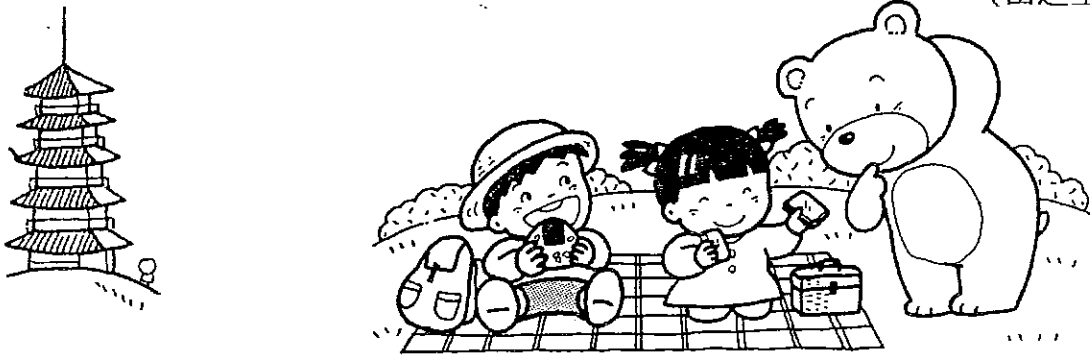
もう寒くなりだしたこの11月は、4班全員心待ちしていたものがありました。昨年から、あーでもない、こーでもない、と、必死になって植えた山芋の収穫時期なのです。本当は、うらやましがっているみんなからの『無農薬、無添加、無責任野菜』という、ヤジなど気にせず、はやる気持ちを押しさえて山芋を掘ってみました。山芋をはわせる為に埋めていた竹を1本、2本と掘り上げてみても山芋の影は見えず…。3本。4本。5本目ぐらいからやっと細長い山芋が、赤土の中からりっ、りっぱな顔をのぞかせました。ちょっと、曲がってて、かなり細くて、まだ売りものにはならないけど、だけど『初めてにしてはすごいよね！』と自分達で慰めあい、山芋の味覚を味わいました。来年はもっと頑張るよ！

(坂本)

## 1班 豪快ナイヤガラの滝

今回の1班レクは大分県にある岡城、原尻の滝観光に出掛けたのでした。いつものレクからすると参加人数も少なく残念な事もあったのですが、長距離ドライブという事でウキウキ気分、『県外だぜ〜』など理由の解らない事を言いながら出掛けたのでした。岡城に到着すると目を見張るような紅葉、山がまるで燃え上がった様に艶やかで来て良かった！内心紅葉もしてなかったら暗い岡城で何をしようかなどと不安な気持ちがあったのは正直なところでした。次はいよいよ秘境の地原尻の滝へ向かう、農道を抜けるとそこは滝だった。『素晴らしい、大きい、田舎』などとみんなそれぞれの思いを口にしながら眺めたのでした。落ち着いた気分ひたっていると『早く帰ろう』と催促する奴がいたのは事実でした。ムード壊しやがって！本当秋なんだな。

(田之上)



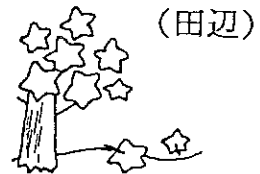
## 2班 食いしんぼうの巻き

三気の里では、風邪が大はやり。そんな中で、2班のレクがありました。2班でも風邪をひいている子が多かったので、みかん狩りはやめにして、お昼ごはんだけを食べに行くドライブコースにしました。車に乗るとみんなの風邪はどこへやら、元気はつらつ、ニコニコ顔です。その上、上野さん家（みかん狩りに招待していただきました）についてびっくり、哲ちゃん、浩ちゃん、修ちゃんのお父さん、お母さんが集まってくれていたのです。そうこうするうちに、おなかの方もすいてきて、お昼ごはん。お弁当の他に、たくさんのごちそうを出して下さり、みんな喜声をあげんばかりの喜びよう。2班のくいしんぼう君たちは、次から次へとばくばくもぐもぐ、食べ終わると『もう、はいらないようー』という顔になっていました。……。にもかかわらず、夕食は全部食べてしまう子供たちには、ただ感心するばかりです。

(橋本)

### 3班・アハハノ吸盤の靴

11月9日(木)の3班のレクリエーションは、寒風吹きすさぶグリーンピア南阿蘇。のん気号を降りた途端『ウーッさぶっ』の第一声、そこで昼食前に体を温めようと遊具に飛びつくが、十人十色で、トイレに駆け込む陽ちゃん、一番遠く離れたブランコに走る建ちゃん、一人雄大な阿蘇を眺めながら物思いに耽る敬ちゃん、大好きな土掘りを広ーい砂場で思う存分楽しむケンちゃん、(その穴に田辺は片足ズッポリ)直ぐに弁当が食べれなくてスネてしまったノリ君。体が少し温まった所で、厨房のきれいなお姉さんたちが作ってくれたおいしい弁当を腹一杯食べた後は、又々四方八方へと飛び散っていくのでした。アッコさんは、急斜面の石のスベリ台を、あのちょっとうつむき加減の姿勢で一步一步登って行くのです。指導員の『吸盤の靴をはいてるみたい』の声に、アッコさんはにこにこしながら『吸盤の靴、アハハ、吸盤の靴』といいながら登って行くのです。(ヘソが茶を沸かしました)そのアッコさんの面倒をよく見てくれるのが由美ちゃんです。3班の指導員皆、感謝しております。大きな体で『アハハ、アハハ』笑いながらスベリ台やブランコを楽しむ啓三君、バランス感覚抜群の新ちゃんは綱渡りの遊具で楽しみました。帰りは皆、遊び疲れてグッタリ。



ただ今

食堂生当白業中

若さと忙しさがとりえだった、此処三気の里の厨房も、一年半が過ぎ、充実しつつやっと歩き出しました。実りの秋(過ぎ?)真っ只中の今、活気づいています。園の畑にも作物が実り、我が家の台所に秋を感じます。から芋祭りに始まり、大根、キャベツ、ホーレン草等々、皆な頑張りを肥やしに育った面々が、顔を揃えました。指導員の遠慮がちな『使ってもらえますかあ』の声で運ばれてきた野菜の味は、なかなかのものでした。去年に比べて、余裕の腕前で、余す事なく活用しています。ここで今一つの悩みは、周りとのコミュニケーションケーション不足。秘密の花園のごとく思っただけでいらっしやる方『只今食堂営業中』です。話にどうぞ!三気の里の畑には、悩みの種は合いませんヨ。帆保

東十方（途方にくれた）

見聞録

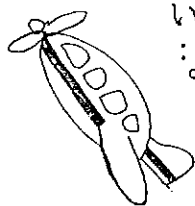
熊本空港に降り立った私の風体は、ネクタイは曲がり、8年も同居している（懲りもせず）妻にも嫌われそうな格好で、グサイおじさんそのもの。

熊本に帰れるという安堵感からかたまたま、搭乗前に飲んだビール酔いからか、何日前に熊本を発ったのかも、思い出せない。

そうだ！1週間前のこと、秋晴れの空、2年前に住んでいた東京、神奈川に里帰り？いえいえとんでもない。全国自閉症児者施設連絡協議会、三気の里の代表として総会に参加することが目的だったのだ。それに、せっかくの機会なので様々な施設を見て回ろうと思い立ち、何はともあれ一路東京へと飛び立った。最初に訪れたのは、以前働いていた「ふきのとう舎」という施設で、生活ホームの見学と宿

泊をお願いしていた。住人の誕生会と重なり、豪華な歓迎だった。根っからのお祭り好きの私は、初日から大騒ぎ楽しい一夜を過ごすこととなってしまった。

翌日、もう一つの目的、わたんぼぼを冊子にするという交渉に障害者共居作業所あるむ印刷工房という印刷屋さんにかけた。交渉は手早く済ませ、後は昔話に花を咲かせたのでした。その夜も、旧友と飲んで騒いだのは言うまでもない。



さて、3日目、本来の目的である「総会」の当日です。のびろの学園の職員が迎えに来るという千葉のまっ駅についたのは指定された1時間前。本当に迎えるはこの駅なのか心配でイライラ待っていたなどと、とても口には出せません。総会は施設見

学を皮切りに夜は懇親会、そして二次会は、気の合った人達と夢を語りました。次の朝、外が黄色く見えたのは気のせいでしょうか。

4日目、総会は、各施設の現状報告と議題の協議、会長選任で幕を閉じた。



さてさて、次は埼玉の「初雁の家」へ施設見学。施設に着いた頃は、もう既に日もとっぷりと暮れていました。初対面にも拘らず、夜遅くまでお話につき合って頂きました。（今日は飲んでないよ）

5日目、「初雁の家」の職員、園生の方々と作業に汗を流した。というにはかなり肌寒かったのだ、それでは体の中から暖めようと、どっと街に繰り出し交流を深めさせて頂いた。お酒でほ



ど好く酔ったお陰でか、5日も家を離れて居る為か、熊本や三気の里がとても恋しく思えた。

6日目の朝、昼近くまで青ざめた私を氣遣って何度も「大丈夫」と声をかけて頂いて、お調子者の私は、思わず「平気です」と答えたのは、単なる痩せ我慢。その時頂いた、アンドーナツの味はほろ苦かった。



二日酔いの頭を振り振り、午後には「初雁の家」を後に次の目的地、三重の「あさけ学園」に向かった。新幹線に乗車の前、ナウイセルフサービスの店で二日酔いも忘れて思わずたくさん買い込み、名古屋までお腹を休める暇も無かったのは生来の卑しさ？。

「あさけ学園」に着くと、今日は職員同士の結婚披露で、職員・住人（あさけでは園生を《住人》

と呼ぶ）こぞってお祝いに駆け付けていた。私もそこに紛れて、振るまい酒を頂いたのは、仕方がないな：（勝手にしなさい）。

7日目、短い滞在なので、あちこちに点在する作業場を駆け足で見せて頂いた。夜は、宿泊した棟の住人・職員手作りのカナッペで歓迎パーティー、とってもおいしかった。何日かぶりにゆったりとお風呂も心地よかった。お風呂が3日ぶりだったというのはここだけの話です。

「あさけ学園」の朝食を終えると、七泊八日の長い旅もようやく日程終了。「あさけ学園」を後にし名古屋空港へと向ったのでした。熊本を出発する際にはピシット決めたスーツ姿も（七五三などと見る目のない人もいたが）見る影も無く、ただただ早く脱ぎたいという思いだけだった。

疲労と、カルチャーショックに打ちのめされた私には、たか

だか紙コップ一杯のビールが多くて、その上とてもほろ苦く思われた。疲れた体をリクライニングさせ大空に舞い上がると、眠りに入るのに時間はかからなかった。気が付くと、機内のアナウンスが熊本に近付いたことを告げていた。

家に帰る車窓から見える景色は紛れもなく熊本である、我が家である。みんなとても懐かしく感じた。

追伸

様々な施設で教えて頂いた、指導方法や苦言。そして、ちょっとびり辛い経験は、後日お話ししたいと思っております。お世話になった方々には、書面をかりて御礼申し上げます。



坂井

## 1 2月の行事予定

1(木)動作法	11(日)	21(水)
2(金)	12(月)ケース会議	22(木)2・3班ㄱ 動作法
3(土)	13(火)	23(金)
4(日)	14(水)	24(土)クリスマス会
5(月)	15(木)防災訓練 動作法	25(日)帰宅週間(28日ㄱ)
6(火)	16(金) ↑1班ㄱ	26(月)
7(水)体重測定 5班ㄱ	17(土)VO学習会	27(火)
8(木)4班ㄱ	18(日)	28(水)冬季帰宅訓練
9(金)	19(月)誕生会	29(木) ↓
10(土)帰宅訓練日	20(火)	30(金) ↓
		31(土) ↓

### 与えになる 栄養の話

先日、肥満度の測定についてお話しました。皆さんいかがでしたか。太り過ぎ、太り気味という結果が出た人が、かなりいたのではないかと思います。そして、こんな方々の中には、気にしている人、努力しているけど痩せない人、全然気にならない人と様々でしょう。また、痩せようと努力している人の中にも間違った減食をしている人もいると思います。減食↓食事を減らすというのは、体を作るための蛋白質や、体の調子を作り整える為のビタミンやミネラルなどの必要な栄養素はへらさないで、エネルギーだけを減らすということなのです。簡単に言えば、百グラムの鶏肉をチキンカツにするよりは、塩焼きや照り焼きにする方が、エネルギーは、減るけど、蛋白質等は変わらないということです。

これからしばらくは、肥満をテーマにして、栄養について色々な事を書いていきたいと思えます。そして、たくさんの方が、食事について、もっと関心を持ってくれたらいいなあと思います。

(興呂木)

後援会△△だより

後援会新規会員紹介

加賀篤憲

小野耕三

伊藤元信

後援会継続会員紹介

一門恵子

中野いく子

十一月二十四日付け

※敬称略

やろう会12月日程

1日(木) 国本・岩永・桜木

8日(木) 中村き・前田・富田

15日(木) 宇都宮・竹下・中村み

18日(日) 牛島・有馬

22日(木) 田中・神沢

―― 結編佳木後記 ――

寒か！この一言につきる夜。

阿蘇はもう雪景色。だから私は小国の家に帰れない。(波多野)